

現場検証のご報告

株式会社 Base Camp

代表取締役 平山裕示

昨日 7 月 17 日、警察関係者、怪我をされた方のご家族、株式会社ロストアロー関係者、弊社関係者が同席する中で現場検証が行われました。

詳細な事故当時の状況を再現しながらその一コマ一コマを写真等に収め、様々な可能性を、様々な角度から検証しました。

警察の検証結果は未だ出ておりませんが、以下では、弊社が、現場検証から得られた事故の原因に関わる事実関係を整理させていただきます。

- ① Lock up school のカラビナ（以下、単に「カラビナ」）の外側ゲートのワイヤー部分が固いエッジ等を拾い易い。
- ② 怪我をされた方が使用していたハーネスであるゾーン（ブラックダイヤモンド製品）のビレイループが一般のものより細い上に固く、カラビナの外側ゲートのワイヤー部分に干渉し、外側ゲートが開き易い。
- ③ テンションをかけた後、登りだすタイミングにロープが緩み、ビレイループの辺りにロープの緩みと捻りが溜まることで、ロープと一体となっているカラビナのワイヤー部分にビレイループが干渉し易い角度になることがある。
- ④ ビレイループが、カラビナのワイヤー部分に干渉し、開いた外側ゲートを通ってしまえば、内側ゲートも簡単に通ってしまい、完全にカラビナから外れてしまう。

以上から、ある程度の事故原因は判明したものと考えられますが、弊社は、怪我をされた方には 1 日も早い快復をお祈りし、引き続き誠意ある対応をさせていただくとともに、今回の検証を基にこの様な事故が 2 度と起こらないよう、より一層の安全管理に努力してまいります。

2019 年 7 月 18 日